

PI を活用した現状分析ツール 2019

「水道事業ガイドライン(PI)を活用した現状分析ツール」を最新バージョンに更新しました。新バージョンでは、最新データへの更新はもちろんのこと、比較対象事業体のフィルター機能等に改良が加わっており、さらに有用なツールとなっております。現状分析の際には是非ご活用ください！



主な更新内容

- ① 最新の水道統計(H28)から算出したPIを掲載
- ② PIのレーダーチャートを任意の2年分について表示する機能を追加
- ③ 主要背景情報(CI)や統計値の表示を6年分に拡張

画面イメージ



PI を活用した現状分析ツールとは？

水道事業体のPIから簡単に現状分析を行うことができるツールです。事業体をリストから選択するだけで、6年分のPI(水道統計から算出可能なPIのみ。)、類似事業体内での統計値が表示され、経年変化や類似事業体内での立ち位置を把握できます。また、分析の結果改善が必要と判断した場合の考察方法についてもまとめています。

お詫び

2019年1月に配布いたしました「現状分析診断システム2019」において、以下のとおり誤りがございました。不具合がありましたことを深くお詫びいたします(2019年4月以降のDL版は修正済です)。

誤りのある箇所	誤りの内容	修正方法
「⑥PI 推移グラフ」のセル「AE20」～「AL20」内の数式「=③PI 一覧!O53」(OはH~Sのアルファベット)	「B605 管線の耐震化率*」のPIを表示する場所に「B605 管線の耐震化率」のPIを表示している(水道配水用ポリエチレン管を考慮していない)。	数式を「=③PI 一覧!O54」(OはH~Sのアルファベット)に変更する。

問合せ先
 水道技術研究センター調査事業部
 TEL 03-5805-0264
 e-mail pitool@jwrc-net.or.jp